



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：憲法準備委員会に向けた動き

(20～30日現地各紙)

29～30日現地各紙は、28日に開催されたタンターウィー国軍最高会議（SCAF）議長と議会政党党首他との憲法準備委員会の選出基準などに関する会合について報じている。

なお、問題となっていた憲法準備委員会メンバーの選出基準などについては、SCAFと政治勢力間で合意を得たようであるが、人民議会の立法委員会が、本来は議会の権限である憲法制定プロセスにSCAFが介入したとして、この合意に意義を唱えている。憲法準備委員会が選出されるためには、両院合同会議にて合意に達する必要がある。

1. 国軍最高会議（SCAF）と諸政治勢力との会合概要

- (1) 28日、タンターウィー国軍最高会議（SCAF）議長およびSCAFメンバーは、議会に議席を有している政党の各党首および一部の人民議会議員と会合を開いた。なお、会合には、ワフド党、タガンマア党、改革・開発党、革命ガド党などの政党党首が参加。他方で、人民議会およびシューラー評議会の両議長は欠席し、また、自由公正党、ワサト党、社会民主党他一部の政党党首も欠席した。
- (2) 会合において、憲法準備委員会メンバーの100人は議会外から選出すること、および詳細な選出基準、憲法各条文決定のための投票方式（3分の2以上の賛成による）について、合意があった。

2. 会合後の記者会見におけるワフド党のバダウィー党首発言

- (1) 憲法準備委員会は、議会（人民議会およびシューラー評議会）に議席を有している政党から37人、アズハルから4人、教会（オーソドクス、カトリック、福音派）から6人、憲法・法律学者から10人、司法裁判所および軍事裁判所を含むすべての司法機関から各1人、労働者から2人、農民から2人、その他、女性、学生、身体障害者、青年革命家などの公人からの代表者より選出されるとの案が提示された。
- (2) 会合出席者の間では、大統領選挙の決選投票の結果発表が終了するまで（6月21日）に憲法を制定する必要性が認識された。
- (3) タンターウィーSCAF議長は、近日中に、憲法準備委員会選出のための人民議会・シューラー評議会合同会合を招集する。
- (4) 今回の会合の決定事項をフォローアップするための委員会が、ワフド党、自由公正党、ヌール党、エジプト・ブロック、文明党、革命ガド党、ムスタファー・バクリー人民議会議員、マルヤム・マラク同議員により設置された。